

品種 中生もち水稻 餅加工適性に優れた「もち美人」

水稻「もち美人」は、岩手県では「中生の晩」に属するもち米である。耐倒伏性・耐冷性は「やや強」で、ヒメノモチより優れる。餅食味が良く、餅加工適性に優れる。平成14年から岩手県で奨励品種として採用された。

表1 「もち美人」の主な特性

系統名・品種名	もち美人	ヒメノモチ	こがねもち
早晩性	中生の晩	中生の中	晩生の晩
草型	偏穂重型	偏穂重型	偏穂重型
出穂期(月日)	8月5日	8月3日	8月12日
成熟期(月日)	9月16日	9月13日	9月28日
稈長(cm)	79.9	85.0	86.8
穂長(cm)	18.1	19.1	16.6
穂数(本/m ²)	345	356	372
芒の多少・長短	稀・極短	稀・短	稀・短
ふ先色	褐	黄白	淡褐
脱粒性	難	難	難
耐倒伏性	やや強	中	やや弱
穂発芽性	やや易	易	やや易
耐冷性	やや強～強	中	中
耐病性	真性 やや強 強	Pia,k 強 強	Pia やや弱 中
玄米収量(kg/a)	53.0	51.5	56.3
耐標準比	103	(100)	109
玄米千粒重(g)	24.9	22.7	21.9
品質(総合)	2.3	3.3	4.0
＃(検査等級)	2.9	4.2	5.3

来歴

母親：「新潟糯31号」
(後の「わたぼうし」)
父親：「中部糯80号」
交配年：平成3年
育成年：銘柄米開発研究室

稈長は「ヒメノモチ」より短い。
出穂・成熟期は「ヒメノモチ」よりやや遅く、「こがねもち」より早い。
玄米の外観品質は「ヒメノモチ」に近く、「こがねもち」より優れる。
餅としての食味は、「ヒメノモチ」並に良好である。
耐倒伏性は「ヒメノモチ」に勝るが、基肥は「ヒメノモチ」並とし、追肥は減数分裂期とする。
「ヒメノモチ」に準じたいもち病の防除が必要である。
穂発芽が「やや易」と「ヒメノモチ」に近いので、適期刈取りに努める。

注1) 供試データ；農業研究センター(水田作・標肥区)は1998～2001年の平均値。ただし、2001年は生育及び品質の変動が大きいため、データから削除した。
注2) 玄米収量及び玄米千粒重は、1.9mm篩目使用。
注3) 品質は、検査等級による評価で、検査等級は1上～3下を1、～9、規格外を10とした場合のスコア値の平均値。



写真1 籾と玄米

左から「ヒメノモチ」「もち美人」「こがねもち」

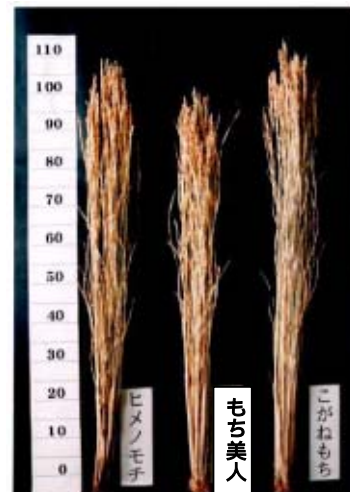


写真2 稲体の草姿

左から「ヒメノモチ」「もち美人」「こがねもち」

「もち美人」の栽培適地は、北上川流域の標高250m以下の矢巾・紫波以南である。